

当日質疑応答等一覧

番号	質問	回答
1	<p>(川崎重工業(株) 野田様) 上園先生、プレゼンテーションありがとうございます。オーストリアにおける農地のカーボン抑制とはどのような事をされているのでしょうか。</p>	<p>(北海学園大学 上園教授) 農地の脱炭素の取組は、有機農業の拡大です。すなわち、化学肥料や農薬を極力使わないとなります。農地の耕法については、調査していないのでわかりません。</p>
2	<p>(北海道立総合研究機構 白土様) 上園先生、御講演ありがとうございます。KEM マネージャーは、どのような組織に属していますか。日本の NPO のようなところでしょうか。</p>	<p>(北海学園大学 上園教授) KEM は小規模自治体を対象とした国の政策です。なお、都市部を対象にした別の政策として、スマートシティがあります。 KEM マネージャーは、各 KEM (KEM は約 9 つの自治体で構成される広域自治体連合) に雇用されています。人件費は、自治体の予算と国の補助金で拠出されます。 年に数回の研修があり、そこでノウハウや情報を共有しています。研修の場を利用したネットワークづくりの意味合いが強いです。 KEM マネージャーは、大卒が多いそうですが、工学、生物学、経済学など多様なバックグラウンドを持っています。 エネルギーの専門家というよりも、人と人をつなぐコーディネーターなので、心理学を勉強する人が多いそうです。</p>
3	<p>(北海道大学 石井教授) 上園先生、本日はありがとうございます。オーストリアでの KEM マネージャーやエネルギーエージェンシーの役割が重要であると考えました。これまでも気候エネルギー分野だけではなく、他の分野でも同様の中間組織の役割があった経緯があるかと思います。オーストリアでの他の分野での自治体支援の事例があれば教えてほしいです。よろしくお願いします。</p>	<p>(北海学園大学 上園教授) 1992 年の地球サミット後に、日本でも「アジェンダ 21」という地域づくりの組織が全国で展開されましたが、2000 年代にはほぼ消滅しました。 それに対して、オーストリアでは、各地でアジェンダ 21 が今も活動を継続・発展しており、エネルギーや脱炭素だけではなく、他の環境問題、福祉などの社会課題に取り組んでいます。住民自治や地域主導が根付いていることがポイントだと考えています。</p>